

令和7年度 校長より ⑤

今年度も猛暑の中の入場行進となりました。7月7日(月)は横浜スタジアムで第107回全国高等学校野球選手権大会神奈川大会の開会式が行われました。各校の応援団でスタンドが埋め尽くされる中、本校野球部は20名の登録メンバーが一系乱れぬ姿で正々堂々で行進しました。試合は、初戦が7月13日(日)に横須賀スタジアムで行われ、麻生総合・高津・横浜旭陵の合同チームを相手に8対2で勝利、3回戦が7月17日(木)に等々力球場で行われ、座間総合を相手に6対4で勝利しました。4回戦は7月18日(金)に大和球場で行われましたが、善戦するも及ばず10対0でシード校の向上に敗れました。しかしながら、本校がこの大会で4回戦まで進出したのは27年ぶりのこととなります。野球部がこのような立派な成績を残してくれたことは、本校の生徒たちが日頃からどの部活動も切磋琢磨しながら真摯に取り組んでいることの象徴だと思います。これでほとんどの部活動では3年生が引退となりますが、1・2年生には先輩たちの築いてくれた伝統をしっかりと受け継ぎ、今後の横須賀大津高校を背負ってほしいと思います。期待しています。また、この度の野球部の大会に対し応援やご支援をくださいました保護者や卒業生の皆様方には心より御礼申し上げます。今後部活動を通した生徒たちの人格の育成に努めてまいります。

皆さんは、奉安庫をご存じでしょうか。奉安庫とは、戦前や戦時中に学校で天皇と皇后の御真影や教育勅語の写しを収めていた防火性の高い金庫のことをいいます。なんと横須賀大津高校には、校長室の中にこの奉安庫があります。この度、読売新聞横須賀支局よりこの奉安庫の取材を受けました。終戦記念日に向けて記事にしたいとのことでした。掲載された暁には、是非ともお読みください。

会場は、酷暑の中での屋外プールでした。7月19日(土)から7月22日(月)まで、埼玉県川口市の青木町公園総合運動場プールにおいて令和7年度関東高等学校水泳競技選手権大会が開催され、本校水泳部3年生徒1名が女子100m背泳ぎと女子200m背泳ぎに出場し、両種目ともに決勝へ進出し、100mでは10位、200mでは8位入賞の結果となりました。また、女子100m背泳ぎではインターハイ出場標準記録を切ったため、8月17日(日)から8月20日(水)までに広島県広島市で行われる2025年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会に出場することが決定しました。日頃からコツコツと練習に取り組んできた成果がこうして結果に結びついたことは、本人や本校生徒たちにとって大変価値のあることだと思います。本大会での活躍も心より祈念しています。頑張ってください。

令和7年7月

神奈川県立横須賀大津高等学校 校長 幸田 隆